

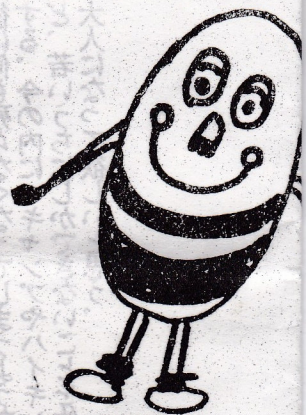
SMILE



SMILE SMILE SMILE

『生まれつき勇敢な者はいない。能力は自信を生む。自信は勇気を生む。』
 これはベーデン・パウエル卿(B・P)の言葉のうちの一つです。
 私達は、よく勇敢な人にあこがれますが、そのような人達は、初めから勇敢だったわけではなく、自らの能力を向上させ、達成することにより自信を生み、そしてその自信は、いろいろな事に立ち向かって挑戦しようとする勇気を生むのです。
 つまり、私達もこのようなことを志し、実行することによつて、あこがれる立場から、あこがられる立場に変わることができません。それは又、人に認められることではないでしょう。決して無理な事ではなく、気持ちの持ち方一つで、変わるのです。人に認めら

れるというのは、人の人生の中で最も素晴らしい事だと思えます。もし、自分がだれからも必要とされていなかったら、きつと生きる希望がなくなってしまうでしょう。このベーデン・パウエル卿の言葉は、生きることまでも教えようとしているのでは。と感じられます。人に認められ、自分としても自信を持ち、勇敢なすばらしい人間になるのは、ちよつとしたことで、すぐなれるものではありませんが、私達はボーイ・スカウト又はガール・スカウトであるのだから、このことを自分だけでなく、周りの人達に教えてあげるといっても、しなくてはならないでしょう。人の上に立つのが、必ずしも良いこと、とはかぎりませんが、このような事は、人々の先頭に立つて、教えたいと願います。



SMILE SMILE SMILE

SMILE SMILE SMILE SMILE SMILE SMILE SMILE

教會員の方のお話

関谷 直人先生

アウシュビッツを御存知ですか。第二次世界対戦中ただユダヤ人というだけの理由で、多くの人々が劣悪な環境の下に収容されていた、ナチス・ドイツの収容所の名前です。何百万人という人々が虐殺されました。そのような人間の尊厳というものが全く無視された状況の中で、人々はどういうに生きたのでしょうか。確かにそういう事は起こりました。しかし、それだけではありませんでした。それだけが一日の食料であるパンやス・ブを、自分よりもっと弱く、病んでいる仲間の枕元にそっと置いて立ち去る囚人。一日の労働で死んだように疲れ切った思いで、日没の美しい夕日を無言で見つめていた囚人たち。A. V. フランクルはその著書「夜と霧」ドイッ強制収容所の体験記録」の中で、このように書いています。人間は罪深い存在です。そのことを考えるときに私達は立ちすくみ、絶望します。しかし、そんな私達に神様は「愛する」能力を与えて下さいました。私達、土の塵に過ぎないものに「神様の形」(創世記1:26)を与えて下さったのです。その「愛」を自分だけの為に使うのではなく、まわりに向けていきたいものです。

スマイルは語る

山寺 淳史

最近、集会のため教会に来ると、スカウトがめっきり少なくなってきたと感じる。ガールスカウト関係の方は何とも言えないが、ボーイスカウト関係の方はどう思うのかなかった。

昔の話になってしまいが、自分が力でスカウトをやっていた頃は、班編成で4組になってきたが、今は2組で班編成を組んでいる。班員自体も昔に比べれば、少なくなってきた。上の隊に上がることに少なくなってきた人員も、今ではそんな連鎖的な関係はほとんどなく、班員数も、隊ごとにはバラバラな状態にある。何故、このような状態になってしまったのであろうか。

この問題については、団委員の方々の悩みの種の一つであると思う。スマイル復刊第八号でもこの問題に触れ、都心の過疎化、ボーイスカウトが今の若者には合わなくなってきたと、原因を二つ三つ出している。おそらく、この二つが大きな原因になっていると私も思う。果たしてこれだけだろうか。他に原因はないだろうか。自分が中学生の頃から、隊員は少なくなってきた。それとともに、新聞、テレビなどの声から、学歴社会という言葉をよく聞き始めた。「学歴のない者は出世しない」などという言葉も同時に耳に入ってきた。

確かに最近の新人社員を見ても、大学卒業はあたりまえのように思っている。そこで思ったのは、もしかしたら、学歴社会というこの四文字も、今のスカウト減少の原因になっているのではないだろうかという事だった。今、受験戦争の舞台は、高校から中学に移り変わり、小学校、幼稚園にまでも及んでいる。いい就職につくには、いい大学に入らなければならぬ。いい大学へ入るには、いい高校へ入らなければならぬ。このような殺し文句が、中学校まで続き時には、小学校、幼稚園にまで続く。こうなると、受験のため、休隊してしまいうスカウトの年代が下にいくのは、一目で分ると思う。若いうちからスカウト活動を受験の一年前などから休隊すると、一年立ってスカウト活動を復帰させるのは難しいのではないだろうか。というのは、一年間休隊したのでランクというのが、今の若者にとって、担当を重荷に思う。そうなる

と、おのずとスカウト活動に終止符を打たなければならなくなる。果たしてこれでいいのだろうか。悪くはないかもしれない。しかし、将来の事はかりを考えて、青年時代を終えてしまったら後に何も残らなくなってしまうような気がする。今の内に、キャンプやハイキングなど、若いうちにしかできないことを体験し大人になって欲しいと思う。

上進して

ビーバーに入つて にしのたけし

ぼくは、ビーバーに入つて、一ばんたのしかつたのは、たくさんのお兄さんと一しよにあそべることです。いやなことは、一年生は、ぼく一人なので、ビックビーバーに一年ぼうずと、言われるのが、いやです。

加藤 裕一

去年は、しかだつた。ぼくは準備がおそかつたので今年に組長だからきびんに、もと速くやろうと思う。

今年の初め、柏木君が組長をやっているのを見て、ぼくに組長ができるかな？と思つた。はつきり言つてぼくは、普段あまり働きが速くないので不安が少しあつた。

でも夏休みに入つてすぐキャンプがあるので、夏休みの初日むねが高なつていたので、等々たのしみにまつていたキャンプ。今年、組長として、気をひきしめ、がんばつて、はずかしくないようにやりたいと思ふ。がんばるぞ！

柏木 武久

僕は、カブスカウトから上がつてボーイスカウトに入りました。ボーイスカウトはカブスカウトとは違い、デンマザー、デンダットがいらないので誰にも頼らないで協力し合い、いろいろな事にチャレンジしていきたいと思ひます。僕はキャンプが好きなので色々な所に行つて、カブスカウトで学んだ事などを活かしてボーイスカウトをやつていきたいです。ボーイスカウトでは、山登りをよくするので、足腰を鍛えたいと思ひます。これから、ボーイスカウトで学ぶ事を生かしていきたいと思ひます。

谷本 剛基

シニア隊に入隊して一番いままでと違ふのは、なんでも自分達でやらなくてはいけないということ。たとえばキャンプの計画なども自分達で下見をして自分達で計画を立てる。というように、とてもたいへんですが、たいへんな分にもおもしろくなつて自分達に跳ね返つてくるので本当におもしろいです。カブやボーイの頃も楽しかつたです。けれども、シニアはそれ以上に楽しいです。シニア隊に入隊してとてもよかつたと思つています。これからも一生懸命頑張つて生きたいです。

城所 明利

一年月が流れるのははやいもので、ふと我に歸り、現在自分のおかれてゐる立場なるものを凝視してみれば、いつの間にもやらロ―バースカウト。突然リーダーのお手伝いさんと化し、無い時間の間を縫つて、各隊のキャンプに参加してゐた。冷静に考へてみればみるほど、滑稽な話である。なにせ、ついこの前まで激しいキャンプを繰り返しながらもフィールドで汗水たらして作業し、更に少しでもうまい食事をと目指して努力してゐた我々がリーダーである。有り体に言へば、今まで生徒をしてゐた者がある日を境として教師へと姿貌する様なものであり、このギャップは想像以上に大きいものであつた。その要因であるうちの一つは、スカウト数が少ないというものであることは自明の理である。当然スカウトが少なくなればなるほど活動ポルテージは下がつてしまふものである。全くもつて困つた話である。

そんな訳であるからこそ我々もがんばらねばならぬのだが、我々も勉学とバイトで一日のほとんどを費してしまふ身であるので、つらいけれども、出来る限り各隊のサポートと共に活動していきたいものである。

木田 行美

わたしが、ブラウニーにはいって一番たのしかったことはお友達とあそべるからです。

赤坂保育園でいっしょだった、お友達がおなじ組なのでともうれしかったです。シートボンを作ったときも、手伝ってくれたし、フルーツボンチをつくったときも、いっしょだったからです。

藤澤まひ子

今年の集立式で、あの茶色のスカーフをもらったとき、

「ああ、やつぱりガールスカウトをつづけていてよかつたなあ。」
と思いました。

私は、一年生のときから、『ガールスカウトをずつとつづけるぞ』と心に決めていました。

「早くジュニアになりたいな。」
などと、たびたび思ったこともありましたが、

これからも、リーダーをめざしてがんばって生きたいと思えます。

鎌田 舞

4月からジュニアでなくシニアになって私はこのシニアの活動は、ブラウニーや、ジュニアの体験してきた応用だと思っています。縄結び、初めての夏キャンプ、そこで教えてもらったこと、学んだ事を思い出して夏キャンプで活かして成功させたいです。

自分自身の目標は、自分で努力をして、他の人と協力し合うことです。

出来ればジュニアであまり努力できなかつたハンドブックをシニアでは、努力して、仕上げてみたいと思います。

スカウト活動には、あまり参加できないかもしれないけど、なるべく参加できるように努力したいと思えます。

鈴木 心

ガールスカウトとなって十年目。自分でも長くここまで続けてこれたとおもいます。それというのも毎週の集会が楽しかったおかげですが、これからは今よりもグレイドアップされた集会がまっています。学校の事などで忙しくなかなか出席できませんが、それだけに、感じられます。

今までは何事もリーダーにまかせっきりだった私達もレンジャーともなると、自分で色々仕事もこなしていきます。昨年までそうだった雰囲気にあこがれていた私

ですが、実際レンジャーになってみると、大変自分の為、なる事ばかりなので続けて良かったと思えます。これからも経験をもっと増やしていきたいと思えます。

今年のキャンプに向かつて

楽しかったキャンプ

石井 庸友

見わたすかぎりの畑の中でぼくたちのキャンプは行われました。じやがいもを、ほつて皮をむいてカレーを作るお手伝いは、少し大変だったけど楽しかったです。夜は、東京とちがつて真つ暗だったので、火花がとてもきれいに見えました。

毛受 寛貴

ぼくはカブスカウトに入る前はどんなことをするのか分からなくて心配でした。でも今はとても楽しいです。カブではザリガニ釣りや、潮干狩りに行ったり、野球やサッカーもします。おやつもあるし、とつてもよかつたと思えます。

キャンプでは、四日間たくさんのお話をしました。ぼくは武田信玄の役をするのに一生懸命せりふを覚えました。最後の日にうさぎ草と矢章を三つもらいました。とてもうれしくなりました。これからまたたくさん矢章がもらえるようにがんばります。

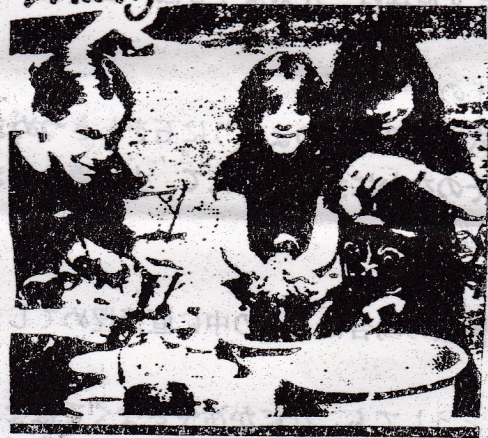
林田 勇武

ボーイスカウトのキャンプ生活は初めてなので、ドキドキしています。どのような事をするのか楽しみです。隊員の人数が少ないのは、とてもさんねんです。太陽の下で温かくキャンプを送りたいと思っています。たき火などもやりたい。どのようなキャンプ場なのだろう。

キャンプは、一回だけでも、やったことがあるので、キャンプ生活をしていくのに、さんこうにしたいと思っています。とにかくほくのねがいは、晴れていて、楽しいということです。

小峰 幹央

シニアスカウトに上進して、一つの学期が過ぎ、いよいよ、一番つらい夏キャンプこれを越えれば、シニアスカウトだと先輩たちが口々にいう。けれど自分は春キャンプで全然歩いていない、不安はつきものだと思うが今回は違う。不安というよりは無望である。それをこなす。そんな時、シニアスカウトだなあと思ったりする。夏キャンプは移動だ、固定の生活など、比べものにならない、どう時間を使うかでキャンプ生活は決まってしまうだろう。そなえよつねに、ボーイスカウトの精神で乗り越えていきたい！



ジュニア

輪笠有子

今年のジュニア部門のキャンプは、七月三十日～八月二日まで、富士五湖の一つである本栖湖のそばの本栖湖キャンプ場で行なわれます。テーマは、「年少部門としての野外技術を身につけながら野外活動の楽しさを知る。」ということです。

四月からの集会で、テントのたて方や、救急法、野外料理などを練習してみたので実際のキャンプで、スカウトが、この様なことをどの位、活かせるか、楽しみです。

豊田 妙子

私がシニアに入って始めての夏キャンプでは、シニアデーと言う日がありその日だけは、自分達で献立を考えて作ったり、食卓台コンテストなどをしたり、朝、四時ごろ起きてハイキングに行くなど、今までとは少し変わった。やった事のない事が出来るので、とても楽しみです。まだまだ分からない事が多いけれど、みんなと協力しあつて、たくさん良い思い出を作りたいと思っています。

伊藤 亜子

今年のレンジャーキャンプは、限られたキャンプ生活の中で、最も快適に暮らす(こだわること)が、テーマです。レンジャーになると、ブラウニー、ジュニア、シニアみために、リーダーが、なにからなまでにやってくれて、それにしたがって動くのではなく、こういう場所です、こういう事がしたい、など自分達で作っていきます。その点、大変といえ、大変ですが納得がいくキャンプが出来ると思います。私にとつてG・Sのキャンプは、久しぶりなのでとても楽しみです。

OUT DOOR

今回の“OUT DOOR”では、野外での保存方法と、キャンプでのちょっとひと工夫を、テーマにしました。

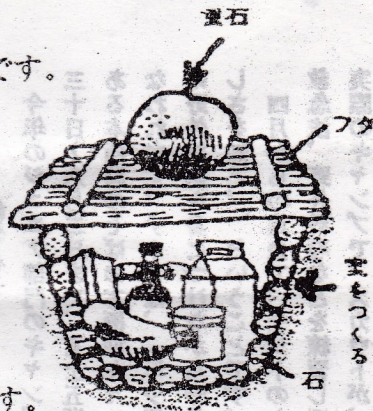
保存方法について

まず原理は、外気よりも低い温度で保つことです。

土の中

- 穴を掘り、そのまわりに石をしきつめます。そのなかに食品を入れて、上に蓋をします。

図1



- 野菜の場合は、土の中に直接埋めてしまいます。
- どうしても、なにか冷やさなくてはならないならば、物が出ないように麻袋などに入れて水につけてもいいし、穴を掘ってビニールをひき氷をしきつめ塩をかければ、氷は溶けずに立派な冷蔵庫になります。

ちょっとひと工夫

- クッキンググローブ
家で使っているクッキンググローブ、キャンプのときに軍手を、何枚も重ねなくても、これさえあれば、熱くないから大丈夫。

ROAD TO THE SLAVE MARKET...

HUNGRY...

TAKE THE RIFLES, TIE THOSE MEN WITH THE ROPES THAT TIED YOU.

WE LEAVE NOW. GUARD THIS PLACE UNTIL I RETURN.

WE... LEAVE?

ETERN FEROCCI WANTS



鉄の棒

鉄の棒をかまどの上に置きます。その上にフライパンや鍋などを置いたり、はんごうを、とうしたりすれば、いちいち石で置く場所を作らなくてもいいし、いちいち持たなくても大丈夫。

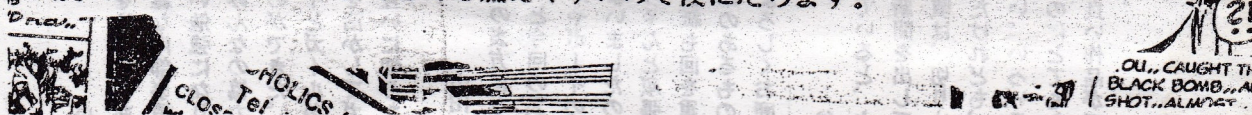
調味料入れ

フィルムの入っていたプラスチックの箱で作ります。蓋のところに数箇所穴をあけて中に調味料を入れて、出来上がり。

乾燥機の毛玉

これは、かまどの火だねにします。今の衣類は科学繊維から出来ているのが多くとても燃えやすいので役にたちます。

The Carp pitchers are among the best in the league. They have the lowest earned run average (2.92) in the league. However, they...



お詫び

ボーイスカウト及びガールスカウトの編集者の都合などにより、発行が3か月以上遅れてしまったことを、深くお詫びいたします。また、そのために、スマイルの編集等に、お手伝いして下ださった方々に。大変御迷惑をかけてしまったことも、より深く反省しています。申し訳ありませんでした。

編集後記

編集長

須藤 利佳

今号からスマイルのメンバーが変わり編集長という役をやらせていただいたも、このような仕事に参加することも、私にとっ
ては初めての事で、改めて自分の意情を
思いしらされた第一号でした。もう一人の
編集長や辺りの人々にすべて任せてしま
う結果になりましたが、この号を読んでい
ただくことで彼等の努力を少しでも感じて
いただければ、と思っております。

メイソ

山寺 淳史

今号から、普通の仕事に着くと同時に、
いきなり編集長の座に着いてしまつた。最
初は覚束かず、ガールスカウト達とのかみ
合いもうまういかなかつた。

メイソも自分が中心の係になつてみて、

初めて大変な仕事だと実感した。しかし最
後の方は、ガールとの隔たりも取れ、メイ
ソも何とかできたので良かったと思う。

伊藤 亜子

今回のスマイルは、前回のとは違い私達
の学年がいちよう中心に作ってきたものだ
つたので責任が重く、色々問題をかかえな
がら作ってきました。でも先輩達のおかげ
で、出版ができホッとしました。次回は、
今回の事を経験としてやっていきたいです。

連載

小峰 幹史

初めてスマイルをやらせてもらつて、ス
マイルのよき、複雑な内部事情、どれもこ
れも僕にとつてよい勉強になりました。今
回のアウトドア、みんなの協力もあり、最
初としてはよいものができた。スマイル、
それは、このボーイとガールが唯一一緒に
活動する場、これを活かしてガールのよき
ボーイのよきをお互いに知りたい。

表紙

山田 里絵子

初めてSMILEの表紙になり、大変戸
惑いしましたが、やつと今回の表紙が出来上
がりました。ガールやボーイの先輩方にと
ても迷惑かけてしまいましたので、これか
らは高一といえどちゃんと頑張つて行きたく
と思つています。表紙も回を重ねることに
読みやすく、親しみのあるものにしていく
ようしますので、よろしく願ひします。

編集後記

谷本 剛基

スマイルをやっていると、よく小学生の
時に班にわかれて新聞を出していたのを思
い出す。でもあの頃は、切りぬきや、クイ
ズ、迷路などだつたけれども、このスマイ
ルはそうはいかない。いろいろ自分で調べ
たりして一冊だすのにとてもたいへんだ。
この次は、もつと良い作品ができるように
努力したいと思う。

昭和六十三年 | 月 | 日 発刊

平成元

復刊第九号

発行人

B・S・シニア

G・S・レンジャー

編集人:

山 寺 淳 史	(編集長)
須 藤 利 佳	(編集長)
鈴 木 心	(表 紙)
山 田 里 絵 子	(表 紙)
小 峰 幹 史	(アウトドア)
伊 藤 亜 子	(アウトドア)
三 沢 麻 美	(アウトドア)
谷 本 剛 基	(編集後記)